

第2期苫小牧市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査結果(速報値)について

1 第2期苫小牧市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査票の回収数等について

2020年度から5か年を計画期間とする第2期苫小牧市子ども・子育て支援事業計画を策定するために市民の皆様へ向けたニーズ調査を実施しました。回収数等の結果は以下のとおりです。

対象	配布・回収期間	配布・回収方法	配布数	回収数	回収率
0～5歳の子ども (未就学児)を持つ保護者	11月9日から配布 12月5日回収期限	各家庭へ郵送 郵送で回収	1,700票 (H25:1,700票)	814票 (H25:784票)	47.9% (H25:46.1%)
小学校1～4年生 の子どもを持つ保護者	11月14日から配布 12月10日回収期限	小学校を通して学 級ごとに配布・回 収	830票 (H25:803票)	642票 (H25:632票)	77.3% (H25:78.7%)

2 就学前児童におけるニーズ調査結果(速報値)について

問1 お住まいの地区はどこですか。

地区名	0～5歳人口	人口割合	調査票送付数	送付割合	回収数	回答割合	回収率
西地区	2,405	29%	489	29%	215	27%	44%
中央地区	2,317	28%	474	28%	225	28%	47%
東地区	3,618	43%	737	43%	367	45%	50%
無回答	-	-	-	-	7	-	-
計	8,340	-	1,700	-	814	-	48%

傾向：地区による回収率に、大きな差はみられなかった。

問2 あて名のお子さんの年齢(平成30年4月1日現在)をご記入ください。

地区名	人口	人口割合	調査票送付数	送付割合	回収数	回答割合	回収率
0歳児	1,234	15%	257	15%	93	12%	36%
1歳児	1,344	16%	270	16%	120	16%	44%
2歳児	1,434	17%	286	17%	127	17%	44%
3歳児	1,392	17%	287	17%	139	19%	48%
4歳児	1,461	17%	304	18%	147	20%	48%
5歳児	1,475	18%	296	17%	120	16%	41%
無回答	-	-	-	-	68	-	-
計	8,340	-	1,700	-	814	-	48%

傾向：0歳児の保護者の回収率がやや低く、3歳児、4歳児の保護者の回収率がやや高い傾向にある。

問 7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	235	28.9	218	27.8
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	399	49.0	410	52.3
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	3	0.4	6	0.8
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	46	5.7	52	6.6
いずれもない	130	16.0	96	12.2
無回答	1	0.1	2	0.3

傾向：日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人等がいない家庭の割合が増加している。

問 8 子育てに関して悩んでいること、または不安に思っていることはどのようなことですか。(複数回答)

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
育児の方法がよくわからない	31	3.8	39	5.0
子どもの病気や発育・発達に関すること	168	20.6	134	17.1
子どもとの接し方に自信が持てない	88	10.8	79	10.1
子育てに関しての話し相手や相談相手がいない	24	2.9	28	3.6
配偶者・パートナーの子育ての協力が少ない、または意見が合わない	96	11.8	96	12.2
配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいない	72	8.8	69	8.8
自分の子育てについて、親族や近隣の人などまわりの目が気になる	40	4.9	50	6.4
子育てのストレスを解消できない	115	14.1	107	13.6
子どもを叱りすぎているような気がする	250	30.7	288	36.7
子育てと仕事の両立に関すること	278	34.2	219	27.9
子育てをするための経済的問題(生活費・教育費など)に関すること	310	38.1	337	43.0
子どもが成長していく将来の社会状況等に関すること	242	29.7	274	34.9
保育所等の利用に関すること	98	12.0	69	8.8
幼稚園の入園及び退園後の保育に関すること	66	8.1	63	8.0
小学校の生活や中学校への進学に関すること	126	15.5	140	17.9
小学校の放課後や長期休業(春・夏・冬休み)などの過ごし方に関すること	141	17.3	103	13.1
子どもの友だちづきあい(いじめ・孤立化など)に関すること	203	24.9	213	27.2
不登校・非行などに関すること	53	6.5	38	4.8
その他	13	1.6	27	3.4
特になし	110	13.5	76	9.7
無回答	12	1.5	12	1.5

傾向：子どもの病気や発育・発達に関すること、子育てと仕事の両立に関すること、保育所等の利用に関すること、小学校の放課後や長期休業などの過ごし方に関すること、不登校・非行などに関することなどで悩んでいる保護者の割合が増えている一方で、特に悩みがないと回答した保護者の割合も増えている。

問 9-1 子育てに関して気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（複数回答）

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
祖父母等の親族	632	83.7	626	85.8
友人や知人	575	76.2	555	76.0
近所の人	71	9.4	79	10.8
子育て支援施設(子育て支援センターや児童館など)・NPO	63	8.3	41	5.6
保健師	24	3.2	20	2.7
保育士	121	16.0	92	12.6
幼稚園教諭	154	20.4	148	20.3
民生委員・児童委員	0	0.0	0	0.0
かかりつけの医師	63	8.3	57	7.8
市の子育て相談窓口	8	1.1	7	1.0
利用者支援員(子育てナビ)	3	0.4	-	-
その他	21	2.8	28	3.8
無回答	8	1.1	4	0.5
非該当 (気軽に相談できるところはない)	59		54	

傾向：子育てに関する相談先は前回の調査から大きく傾向は変わっていないが、子育て支援施設(子育て支援センターや児童館など)・NPO、保育士を相談先とする保護者の割合が増加している。

問 13 あて名のお子さんの保護者(母親)の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	164	20.1	141	18.0
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	48	5.9	31	4.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	261	32.1	171	21.8
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	21	2.6	11	1.4
以前は就労していたが、現在は就労していない	290	35.6	375	47.8
これまで就労したことがない	21	2.6	44	5.6
無回答	9	1.1	11	1.4

傾向：フルタイム、パート・アルバイトとも就労している母親の割合が増加している。

問13-2 パート・アルバイト等で就労していると回答した方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。(母親)

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
フルタイムへの転換予定がある	24	8.5	10	5.5
フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない	71	25.2	56	30.8
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	161	57.1	105	57.7
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	16	5.7	10	5.5
無回答	10	3.5	1	0.5
非該当	532		602	

傾向：フルタイムへの転換予定がある母親の割合が増加している。

問13-3 「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。(母親)

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	69	22.2	99	23.6
1年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい	140	45.0	217	51.8
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	78	25.1	90	21.5
無回答	24	7.7	13	3.1
非該当	503		365	

※1年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい

平均値：平成 30 年度 4.8 歳 平成 25 年度 5.0 歳

※すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

働きたい1週あたりの日数：平成 30 年度 3.9 日 平成 25 年度 3.8 日

働きたい1日あたりの時間：平成 30 年度 4.6 時間 平成 25 年度 4.7 時間

傾向：すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい母親の割合が増加している。

問 14 あて名のお子さんは現在、平日、「定期的に」幼稚園・保育施設等を利用していますか。

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
利用している	612	75.2	552	70.4
利用していない	202	24.8	231	29.5
無回答	0	0.0	1	0.1

傾向：平日、「定期的に」幼稚園・保育施設等利用している子どもの割合が増加している。

問 14-1 「定期的に」利用している幼稚園・保育施設等をお答えください。（複数回答）

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
幼稚園(通常就園時間の利用)	251	41.0	337	61.1
幼稚園のプレスクール(主に2歳児以下を対象に実施)	59	9.6	-	-
幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	70	11.4	57	10.3
認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	138	22.5	131	23.7
認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	117	19.1	23	4.2
小規模保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの)	11	1.8	-	-
事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)	17	2.8	14	2.5
その他の認可外保育施設	15	2.5	26	4.7
ファミリー・サポート・センター事業による預かりサービス	1	0.2	8	1.4
その他	10	1.6	23	4.2
無回答	0	0.0	1	0.2
非該当	202		232	

傾向：認定こども園の利用者、小規模保育施設の利用者の割合が増加している。また、認可保育所の利用者の割合はほぼ横ばいで、認可外保育所の利用者、未就学児のファミリー・サポート・センター事業による定期的な預かりサービスの利用者の割合が減少している。また、幼稚園の利用者の割合が減少しているが、今回の調査から幼稚園のプレスクールの項目を追加したこと、この5年間で幼稚園が認定こども園へ7園移行したことが要因であると推測される。

問14-4 平日に定期的に利用している幼稚園・保育施設等について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

選択肢	平成30年度	平成25年度
	平均	平均
現在の利用 1週あたり ●日	4.8日	4.6日
現在の利用 1日あたり ●時間●分	6時間42分	6時間13分
現在の利用 1日あたりの利用時間 ●●：●●～●●：●●	8：43～15：21	-
希望する 1週あたり ●日	4.7日	4.9日
希望する 1日あたり ●時間●分	7時間39分	6時間57分
希望する 1日あたりの利用時間 ●●：●●～●●：●●	8：39～16：16	-
日付をまたぐ保育希望 1週あたり ●日	0.6日	-
日付をまたぐ保育希望 1日あたり ●時間●分	15時間20分	-
日付をまたぐ保育希望 1日あたりの利用時間 ●●：●●～●●：●●	15：45～10：30	-

※幼稚園・保育施設等の「現在の利用」の回答者数：平成30年度 599人 平成25年度 538人

※幼稚園・保育施設等の利用を「希望する」回答者数：平成30年度 205人 平成25年度 387人

※「日付をまたぐ保育希望」の回答者数：平成30年度 11人 平成25年度 (未調査)

傾向：1日あたりの施設の利用時間及び利用希望時間が長くなる傾向にある。

問14-5 幼稚園・保育施設等について「利用していない」方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。(複数回答)

選択肢	平成30年度		平成25年度	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
利用する必要がない(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)	90	44.6	86	37.2
子どもの祖父母や親戚の人がみている	13	6.4	24	10.4
近所の人や父母の友人・知人がみている	2	1.0	2	0.9
利用したいが、保育園・幼稚園等に空きがない	26	12.9	21	9.1
利用したいが、経済的な理由で保育園・幼稚園等を利用できない	8	4.0	26	11.3
利用したいが、延長・夜間等の時間帯、場所等の条件が合わない	3	1.5	10	4.3
利用したいが、質や内容など、希望する保育園・幼稚園等がない	6	3.0	5	2.2
子どもがまだ小さいため	100	49.5	109	47.2
その他	23	11.4	28	12.1
無回答	4	2.0	8	3.5
非該当	612		553	

傾向：利用する必要がない方の割合が増加している一方で、利用していない子どもは、祖父母や親戚にみられる割合が少なくなり、親にみられる割合が多くなっており、経済的な理由や条件が合わないことで幼稚園・保育施設等を利用できない子どもの割合は減っている。また、保育園・幼稚園等に空きがないため施設を利用できない子どもの割合は増えている。

問15 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんについて、今後、平日において「定期的に」幼稚園、保育施設等を利用したいと思いますか。

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
利用したい	796	97.8	743	94.8
利用したいと思わない	13	1.6	28	3.6
無回答	5	0.6	13	1.7

傾向：大半の保護者が定期的に幼稚園、保育施設を利用したいと思っている。

問 15-1 定期的に利用したい幼稚園・保育施設・サービス等をお答えください。（複数回答）

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
幼稚園(通常の就園時間の利用)	483	60.7	539	72.5
幼稚園のプレスクール(主に2歳児以下を対象に実施)	146	18.3	-	-
幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	252	31.7	227	30.6
認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	238	29.9	218	29.3
認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	286	35.9	101	13.6
小規模保育施設	42	5.3	43	5.8
事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)	48	6.0	36	4.8
その他の認可外保育施設	19	2.4	27	3.6
ファミリー・サポート・センター事業による預かりサービス	45	5.7	36	4.8
その他	8	1.0	11	1.5
無回答	7	0.9	6	0.8
非該当	18		41	

傾向：定期的に認定こども園を利用したいと思う保護者が増加している。

問 15-2 定期的に利用したい幼稚園・保育施設・サービス等について、優先順位を1位から3位まで選んでください。

1位

選択肢	平成30年度	
	回答数	割合 (%)
幼稚園(通常のが園時間の利用)	305	38.3
幼稚園のプレスクール(主に2歳児以下を対象に実施)	69	8.7
幼稚園の預かり保育(通常のが園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	9	1.1
認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	155	19.5
認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	149	18.7
小規模保育施設	8	1.0
事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)	7	0.9
その他の認可外保育施設	1	0.1
ファミリー・サポート・センター事業による預かりサービス	0	0.0
その他	2	0.3
無回答	91	11.4
非該当	18	

2位

選択肢	平成30年度	
	回答数	割合 (%)
幼稚園(通常のが園時間の利用)	112	14.1
幼稚園のプレスクール(主に2歳児以下を対象に実施)	38	4.8
幼稚園の預かり保育(通常のが園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	173	21.7
認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	60	7.5
認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	117	14.7
小規模保育施設	9	1.1
事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)	18	2.3
その他の認可外保育施設	9	1.1
ファミリー・サポート・センター事業による預かりサービス	15	1.9
その他	2	0.3
無回答	243	30.5
非該当	18	

3位

選択肢	平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)
幼稚園(通常の就園時間の利用)	54	6.8
幼稚園のプレスクール(主に2歳児以下を対象に実施)	25	3.1
幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	83	10.4
認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	44	5.5
認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	57	7.2
小規模保育施設	26	3.3
事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)	21	2.6
その他の認可外保育施設	5	0.6
ファミリー・サポート・センター事業による預かりサービス	34	4.3
その他	2	0.3
無回答	445	55.9
非該当	18	

傾向：定期的に利用したい施設として幼稚園を優先する保護者が多い傾向にある。

問 15-5 2019年10月より、3歳から5歳児の幼稚園・保育施設等の費用が無償化されることが予定されています(なお、無償化の範囲は未定です)。この無償化によって、幼稚園・保育施設・サービス等の利用をどのように考えますか。

選択肢	平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)
これまで利用している幼稚園・保育施設・サービス等を継続して利用したい	537	67.5
幼稚園に入れたい	100	12.6
認可保育所に入れたい	28	3.5
認定こども園に入れたい	56	7.0
その他のサービスを利用したい	0	0.0
わからない	36	4.5
幼稚園・保育施設・その他のサービス等を利用したくない	0	0.0
その他	21	2.6
無回答	18	2.3
非該当	18	

傾向：保育料が無償化になってもこれまで利用している施設を継続して利用したい保護者が多い傾向になっている。

問 16 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業などを利用していますか。

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
子育てルーム・子育て支援センター	129	15.8	117	14.9
児童館・児童センター午前中幼児開放	100	12.3	50	6.4
利用していない	629	77.3	616	78.6
無回答	19	2.3	23	2.9

※子育てルーム・子育て支援センターの利用頻度

平均値：平成 30 年度 1 週あたり 1.2 回、もしくは 1 ヶ月あたり 2.2 回

平成 25 年度 1 週あたり 1.6 回、もしくは 1 ヶ月あたり 2.4 回

※児童館・児童センターの利用頻度

平均値：平成 30 年度 1 週あたり 1.2 回、もしくは 1 ヶ月あたり 2.1 回

平成 25 年度 1 週あたり 2.1 回、もしくは 1 ヶ月あたり 2.6 回

傾向：児童館・児童センター午前中幼児開放の利用者の割合が増えているが、利用頻度は減っている。

問 17 地域子育て支援拠点事業などについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用日数を増やしたいと思いませんか。

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
利用していないが、今後利用したい	130	16.0	159	20.3
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	71	8.7	63	8.0
新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない	541	66.5	483	61.6
無回答	72	8.8	79	10.1

※利用していないが、今後利用したい方の利用頻度

平均値：平成 30 年度 1 週あたり 1.7 回、もしくは 1 ヶ月あたり 3.3 回

平成 25 年度 1 週あたり 1.6 回、もしくは 1 ヶ月あたり 3.8 回

※すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい方の利用頻度

平均値：平成 30 年度 1 週あたり 1.6 回、もしくは 1 ヶ月あたり 4.0 回

平成 25 年度 1 週あたり 1.5 回、もしくは 1 ヶ月あたり 4.5 回

傾向：地域子育て支援拠点事業などを新規に利用したい、利用日数を増やしたい保護者の割合は減少傾向になっている。

問 18 それぞれの事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

知っている事業

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
母親教室、パパママ教室、赤ちゃん教室	725	89.1	687	87.6
子育て世代包括支援センター（保健師による相談）	352	43.2	630	80.4
家庭教育に関する相談	231	28.4	243	31.0
教育研究所の教育相談	142	17.4	135	17.2
幼稚園の地域開放	611	75.1	554	70.7
子育ての相談窓口	559	68.7	528	67.3
市発行の子育て支援情報誌「のんきこんきげんき」	310	38.1	298	38.0
ファミリー・サポート・センター事業	571	70.1	-	-

利用したことがある事業

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
母親教室、パパママ教室、赤ちゃん教室	496	60.9	455	58.0
子育て世代包括支援センター（保健師による相談）	148	18.2	246	31.4
家庭教育に関する相談	14	1.7	15	1.9
教育研究所の教育相談	6	0.7	6	0.8
幼稚園の地域開放	360	44.2	316	40.3
子育ての相談窓口	67	8.2	45	5.7
市発行の子育て支援情報誌「のんきこんきげんき」	177	21.7	165	21.0
ファミリー・サポート・センター事業	91	11.2	-	-

今後利用したい事業

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
母親教室、パパママ教室、赤ちゃん教室	191	23.5	211	26.9
子育て世代包括支援センター（保健師による相談）	180	22.1	253	32.3
家庭教育に関する相談	155	19.0	198	25.3
教育研究所の教育相談	140	17.2	170	21.7
幼稚園の地域開放	295	36.2	370	47.2
子育ての相談窓口	218	26.8	241	30.7
市発行の子育て支援情報誌「のんきこんきげんき」	276	33.9	327	41.7
ファミリー・サポート・センター事業	236	29.0	-	-

傾向：知っている事業、利用したことがある事業では「子育て世代包括支援センター」の割合が減少し、幼稚園の地域開放の割合が増加している。今後利用したい事業では、どの事業も利用したい保護者の割合が減少傾向にある。

問 19 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な幼稚園・保育施設等の利用希望はありますか。

土曜日の利用希望

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
利用する必要はない	524	64.4	524	66.8
ほぼ毎週利用したい	78	9.6	75	9.6
月に1~2回は利用したい	193	23.7	156	19.9
無回答	19	2.3	29	3.7

※利用したい時間帯の平均：平成 30 年度 8：33～16：05

日曜日・祝日の利用希望

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
利用する必要はない	677	83.2	627	80.0
ほぼ毎週利用したい	13	1.6	22	2.8
月に1~2回は利用したい	99	12.2	107	13.6
無回答	25	3.1	28	3.6

※利用したい時間帯の平均：平成 30 年度 8：32～16：36

傾向：土曜日の利用希望者の割合はやや増加しているが、日曜日・祝日の利用希望者の割合はやや減少している。

問 20 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休業期間中に幼稚園・保育施設等の利用を希望しますか。

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
利用する必要はない	130	40.9	166	49.3
休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	58	18.2	47	13.9
休みの期間中、週に数日利用したい	120	37.7	112	33.2
無回答	10	3.1	12	3.6
非該当	496		447	

※利用したい時間帯の平均：平成 30 年度 8：33～15：48

傾向：長期休業期間中に幼稚園・保育施設等を利用したい保護者の割合が増加している。

問21 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで幼稚園・保育施設等を利用できなかったことはありますか。

選択肢	平成30年度		平成25年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
あった	440	71.9	373	67.6
なかった	159	26.0	151	27.4
無回答	13	2.1	28	5.1
非該当	202		232	

傾向：病気やケガで幼稚園・保育施設等を利用できない子どもの割合が増加している。

問 21-1 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している幼稚園・保育施設等が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法と、それぞれの日数をご記入ください。（複数回答）

選択肢	平成30年度		平成25年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
父親が仕事を休んだ	88	20.0	48	12.9
母親が仕事を休んだ	289	65.7	198	53.1
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	151	34.3	126	33.8
父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	135	30.7	140	37.5
ファミリー・サポート・センター事業を利用した	7	1.6	7	1.9
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2	0.5	7	1.9
その他	9	2.0	17	4.6
無回答	10	2.3	4	1.1
非該当	374		411	

※1年間のうち父親が仕事を休んだ日数 平均値：平成30年度 3.3日 平成25年度 3.5日

※1年間のうち母親が仕事を休んだ日数 平均値：平成30年度 6.9日 平成25年度 8.4日

※1年間のうち親族・知人に子どもをみてもらった日数 平均値：平成30年度 5.7日 平成25年度 8.2日

※1年間のうち父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた日数

平均値：平成30年度 8.4日 平成25年度 8.1日

※1年間のうちファミリー・サポート・センター事業を利用した日数

平均値：平成30年度 2.3日 平成25年度 2.3日

※1年間のうち仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数 平均値：平成30年度 3.0日 平成25年度 2.3日

傾向：父母が仕事を休んで、病気やケガの子どもをみる傾向が強まっている。

問 21-2 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いますか。また、そう思う場合、1年間の利用したい日数もご記入ください

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	127	28.9	115	20.8
利用したいとは思わない	307	69.8	285	51.5
無回答	6	1.4	153	27.6

※できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数 平均値：平成 30 年度 10.2 日 平成 25 年度 6.4 日

傾向：無回答が大幅に減少し、病児・病後児保育施設等を利用したい保護者の割合が増えている。

問 22 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
一時保育	24	2.9	40	5.1
幼稚園の預かり保育	137	16.8	108	13.8
ファミリー・サポート・センター事業	17	2.1	9	1.1
その他	6	0.7	5	0.6
利用していない	642	78.9	618	78.8
無回答	24	2.9	17	2.2

※一時保育の利用頻度

平均値：平成 30 年度 1 年あたり 9.9 日 平成 25 年度 1 年あたり 16.6 日

※幼稚園の預かり保育の利用頻度

平均値：平成 30 年度 1 年あたり 17.7 日 平成 25 年度 1 年あたり 13.6 日

※ファミリー・サポート・センター事業の利用頻度

平均値：平成 30 年度 1 年あたり 1.4 日 平成 25 年度 1 年あたり 9.7 日

傾向：一時保育の利用割合は減少しているが、幼稚園の預かり保育、ファミリー・サポート・センター事業の利用割合は増加している。ただし、利用頻度は幼稚園の預かり保育は増加しているものの、一時保育、ファミリー・サポート・センター事業は減少している傾向にある。

問 23 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望及び1年間の利用したい日数をご記入ください。

選択肢	平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)
一時保育	93	11.4
幼稚園の預かり保育	188	23.1
ファミリー・サポート・センター事業	44	5.4
その他	15	1.8
利用する必要はない	475	58.4
無回答	73	9.0

※一時保育の利用希望頻度 平均値：平成 30 年度 1年あたり 14.1 日

※幼稚園の預かり保育の利用希望頻度 平均値：平成 30 年度 1年あたり 20.3 日

※ファミリー・サポート・センター事業の利用希望頻度 平均値：平成 30 年度 1年あたり 5.5 日

傾向：幼稚園の預かり保育を利用したい保護者の割合が多い。

問 24 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。あった場合は、この1年間の対処方法と、それぞれの日数をご記入ください。

泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないこと

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
あった	150	18.4	173	22.1
なかった	643	79.0	595	75.9
無回答	21	2.6	16	2.0

対処方法

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	124	82.7	144	83.2
短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	3	2.0	1	0.6
イ以外の保育事業(認可外保育施設、ファミリー・サポート・センター事業、ベビーシッター等)を利用した	4	2.7	1	0.6
仕方なく子どもを同行させた	29	19.3	29	16.8
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3	2.0	1	0.6
その他	4	2.7	8	4.6
無回答	2	1.3	0	0.0
非該当	664		611	

※(同居者を含む)親族・知人にみてもらった頻度

平均値：平成 30 年度 1年あたり 3.8 泊 平成 25 年度 1年あたり 5.9 泊

※短期入所生活援助事業を利用した頻度

平均値：平成 30 年度 1年あたり 0 泊 平成 25 年度 1年あたり 1.0 泊

※ファミリー・サポート・センター事業等を利用した頻度

平均値：平成 30 年度 1年あたり 0 泊 平成 25 年度 1年あたり 1.0 泊

※仕方なく子どもを同行させた頻度

平均値：平成 30 年度 1年あたり 3.4 泊 平成 25 年度 1年あたり 5.0 泊

※仕方なく子どもだけで留守番をさせた頻度

平均値：平成 30 年度 1年あたり 0 泊 平成 25 年度 1年あたり 1.0 泊

傾向：お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない状況が減少している。対処法としては、仕方なく子どもを同行させる割合が増えている。

問 25 地域の子育て支援事業について、現在の利用状況、今後の利用意向、利用したい場所をお伺いします。

現在の利用意向（利用している実績）

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
子育て支援センター・子育てルーム	330	40.5	219	27.9
子育て短期支援事業	8	1.0	4	0.5
一時保育	56	6.9	57	7.3
休日保育	20	2.5	26	3.3
病児・病後児保育	18	2.2	7	0.9

※他市での利用状況

子育て支援センター・子育てルーム	：平成 30 年度 9 人 2.7%	平成 25 年度 5 人 2.3%
子育て短期支援事業	：平成 30 年度 0 人 0.0%	平成 25 年度 0 人 0.0%
一時保育	：平成 30 年度 1 人 1.8%	平成 25 年度 1 人 1.8%
休日保育	：平成 30 年度 1 人 5.0%	平成 25 年度 0 人 0.0%
病児・病後児保育	：平成 30 年度 0 人 0.0%	平成 25 年度 1 人 14.3%

今後の利用意向（今後の利用希望）

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
子育て支援センター・子育てルーム	317	38.9	290	37.0
子育て短期支援事業	63	7.7	114	14.5
一時保育	164	20.1	211	26.9
休日保育	123	15.1	203	25.9
病児・病後児保育	189	23.2	213	27.2

※他市での利用希望

子育て支援センター・子育てルーム	：平成 30 年度 6 人 1.9%	平成 25 年度 3 人 1.0%
子育て短期支援事業	：平成 30 年度 1 人 1.6%	平成 25 年度 2 人 1.8%
一時保育	：平成 30 年度 3 人 1.8%	平成 25 年度 5 人 2.4%
休日保育	：平成 30 年度 2 人 1.6%	平成 25 年度 3 人 1.5%
病児・病後児保育	：平成 30 年度 1 人 0.5%	平成 25 年度 3 人 1.4%

傾向：他市で子育て支援事業を利用したり、利用希望がある保護者の割合は引き続き低い傾向にある。

問 26 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、それぞれ希望する週あたり日数もご記入ください。

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
自宅	184	55.8	177	56.4
祖父母宅や友人・知人宅	58	17.6	47	15.0
習い事	124	37.6	145	46.2
児童館・児童センター	27	8.2	30	9.6
放課後児童クラブ(学童保育)	145	43.9	130	41.4
ファミリー・サポート・センター事業	4	1.2	2	0.6
その他(公民館、コミュニティセンター、公園など)	56	17.0	76	24.2
無回答	34	10.3	25	8.0
非該当	484		470	

※希望する週あたりの平均日数等

自宅	：平成 30 年度 3.6 日	平成 25 年度 3.5 日
祖父母宅や友人・知人宅	：平成 30 年度 2.2 日	平成 25 年度 2.2 日
習い事	：平成 30 年度 1.8 日	平成 25 年度 1.8 日
児童館・児童センター	：平成 30 年度 2.7 日	平成 25 年度 2.6 日
放課後児童クラブ(学童保育)	：平成 30 年度 4.1 日	下校時から 17：08 まで 平成 25 年度 4.1 日
ファミリー・サポート・センター事業	：平成 30 年度 1.0 日	平成 25 年度 1.0 日
その他(公民館、コミュニティセンター、公園など)	：平成 30 年度 2.5 日	平成 25 年度 2.9 日

傾向：習い事、児童館・児童センターや公民館、コミュニティセンター、公園などで過ごさせたいと思う保護者の割合が減少しており、祖父母宅や友人・知人宅、放課後児童クラブ等で過ごさせたいと思う保護者の割合が増加している。

問 27 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のうちは、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、それぞれ希望する週あたり日数もご記入ください。

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
自宅	212	64.2	209	66.6
祖父母宅や友人・知人宅	61	18.5	50	15.9
習い事	170	51.5	188	59.9
児童館・児童センター	31	9.4	32	10.2
放課後児童クラブ(学童保育)	86	26.1	77	24.5
ファミリー・サポート・センター事業	3	0.9	5	1.6
その他(公民館、コミュニティセンター、公園など)	67	20.3	85	27.1
無回答	36	10.9	27	8.6
非該当	484		470	

※希望する週あたりの平均日数等

自宅	：平成 30 年度 3.4 日	平成 25 年度 3.3 日
祖父母宅や友人・知人宅	：平成 30 年度 2.3 日	平成 25 年度 2.1 日
習い事	：平成 30 年度 2.3 日	平成 25 年度 2.2 日
児童館・児童センター	：平成 30 年度 2.7 日	平成 25 年度 2.1 日
放課後児童クラブ(学童保育)	：平成 30 年度 3.8 日	下校時から 17：12 まで 平成 25 年度 3.8 日
放課後児童クラブ(預けたい学年)	：平成 30 年度 5.1 年生まで	平成 25 年度 5.4 年生まで
ファミリー・サポート・センター事業	：平成 30 年度 3.5 日	平成 25 年度 2.2 日
その他(公民館、コミュニティセンター、公園など)	：平成 30 年度 2.6 日	平成 25 年度 2.9 日

傾向：習い事、児童館・児童センターや公民館、コミュニティセンター、公園などで過ごさせたいと思う保護者の割合が減少しており、祖父母宅や友人・知人宅、放課後児童クラブで過ごさせたいと思う保護者の割合が増加している。

問 28 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

母親

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
働いていなかった	500	61.4	535	68.2
取得した(取得中である)	209	25.7	147	18.8
取得していない	100	12.3	86	11.0
無回答	5	0.6	16	2.0

父親

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
働いていなかった	5	0.6	6	0.8
取得した(取得中である)	23	2.8	25	3.2
取得していない	738	90.7	695	88.6
無回答	48	5.9	58	7.4

傾向：育児休業を取得する母親の割合が増加している。

問 28-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

母親

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	59	37.3	37	31.6
それ以外だった	97	61.4	75	64.1
無回答	2	1.3	5	4.3
非該当	656		667	

父親

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2	8.7	0	0
それ以外だった	18	78.3	22	91.7
無回答	3	13.0	2	8.3
非該当	791		760	

傾向：年度初めの保育所等の入所に合わせたタイミングで職場復帰した保護者の割合が増加している。

問28-6 現在も育児休業中である方にうかがいます。あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育園があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、1歳になる前に復帰しますか。

母親

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
1歳になるまで育児休業を取得したい	38	92.7	17	73.9
1歳になる前に復帰したい	1	2.4	2	8.7
無回答	2	4.9	4	17.4
非該当	773		761	

※本調査の中で平成30年度、平成25年度とも育児休業中の父親がいなかったため、父親のデータなし。

傾向：1歳になるまで育児休業を取得したい母親の割合が増加している。

問29 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと思いますか。

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
親子が気軽に集まれる場所などをつくってほしい(子育て支援センターなど)	224	27.5	239	30.5
子育てに困ったときに相談または情報を得られる場所を増やしてほしい	176	21.6	207	26.4
子育てについて学べる機会をつくってほしい	154	18.9	170	21.7
親子または子どもが遊べる公園等の施設を増やしてほしい(児童館・児童センターは除く)	439	53.9	370	47.2
子育てサークル活動をするための場所をつくってほしい	26	3.2	47	6.0
専業主婦など誰でも気軽に子どもを預けられる保育サービスを拡充してほしい	300	36.9	320	40.8
母子保健・健診を拡充してほしい	183	22.5	177	22.6
安心して子どもが医療機関にかかれる制度を拡充してほしい	296	36.4	300	38.3
子どもが病気や回復期のときに預かってくれる保育サービスを増やしてほしい	185	22.7	193	24.6
保育所や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい	466	57.2	565	72.1
保育所を増やしてほしい	107	13.1	149	19.0
認定こども園を増やしてほしい	112	13.8	-	-
小規模保育施設を増やしてほしい	28	3.4	-	-
夜間保育所を整備してほしい	40	4.9	-	-
休日保育を増やしてほしい	91	11.2	-	-
一時保育を増やしてほしい	91	11.2	-	-
病児・病後児保育を増やしてほしい	141	17.3	-	-
児童館・児童センターを増やしてほしい	113	13.9	149	19.0
学童保育など放課後の小学生を安心して預けられる場所を増やしてほしい	285	35.0	271	34.6
小学校の長期休業(春・夏・冬休み)に子どもを安心して預けられる体制を整備してほしい	315	38.7	288	36.7
非行防止など青少年育成の体制を整備してほしい	113	13.9	149	19.0
多子世帯の優先入居や広い間取りの割り当てなど、市営住宅入居面で配慮してほしい	52	6.4	88	11.2
残業時間短縮や休暇取得促進など、子育てのための職場環境の改善を企業に働きかけてほしい	234	28.7	224	28.6
その他	74	9.1	69	8.8
特にない	23	2.8	19	2.4
無回答	55	6.8	19	2.4

傾向：親子または子どもが遊べる公園等の施設を増やしてほしい、保育所や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしいという要望が引き続き多い。

問30 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
1 (低い)	62	7.6	72	9.2
2	162	19.9	164	20.9
3	390	47.9	379	48.3
4	146	17.9	138	17.6
5 (高い)	32	3.9	21	2.7
無回答	22	2.7	10	1.3

平均値：平成 30 年度 2.9、平成 25 年度 2.8

傾向：子育ての環境や支援への満足度は、ほんのわずかに上昇しているが、今後は、さらに満足度を上昇させなければならない状況にある。

3 就学後児童におけるニーズ調査結果（速報値）について

問 1 お住まいの地区はどこですか。

地区名	1~4年生人口	人口割合	調査票配布数	配布割合	回収数	回答割合	回収率
西地区	1,956	32%	279	34%	235	38%	84%
中央地区	1,487	25%	194	23%	149	24%	77%
東地区	2,617	43%	357	43%	239	38%	67%
無回答	-	-	-	-	19	-	-
計	6,060	-	830	-	642	-	77%

傾向：西地区、中央地区の回答率が高い傾向になっている。

問 2 お子さんの学年をご記入ください。

地区名	人口	人口割合	調査票配布数	配布割合	回収数	回答割合	回収率
1年生	1,505	25%	225	27%	174	28%	77%
2年生	1,492	25%	213	26%	166	27%	78%
3年生	1,535	25%	229	27%	172	27%	75%
4年生	1,528	25%	163	20%	114	18%	70%
無回答	-	-	-	-	16	-	-
計	6,060	-	830	-	642	-	77%

傾向：低学年の回答率がやや高い傾向になっている。

問 6 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	151	23.5	169	26.7
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	330	51.4	322	50.9
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	5	0.8	7	1.1
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	56	8.7	53	8.4
いずれもない	95	14.8	76	12.0
無回答	5	0.8	5	0.8

傾向：日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人がいない家庭の割合が増加している。

問 7 子育てに関して悩んでいること、または不安に思っていることはどのようなことですか。(複数回答)

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
育児の方法がよくわからない	25	3.9	17	2.7
子どもの病気や発育・発達に関すること	99	15.4	77	12.2
子どもとの接し方に自信が持てない	67	10.4	49	7.8
子育てに関しての話し相手や相談相手がいない	17	2.6	17	2.7
配偶者・パートナーの子育ての協力が少ない、または意見が合わない	73	11.4	66	10.4
配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいない	32	5.0	32	5.1
自分の子育てについて、親族や近隣の人などまわりの目が気になる	33	5.1	28	4.4
子育てのストレスを解消できない	52	8.1	41	6.5
子どもを叱りすぎているような気がする	241	37.5	229	36.2
子育てと仕事の両立に関すること	158	24.6	131	20.7
子育てをするための経済的問題(生活費・教育費など)に関すること	216	33.6	223	35.3
子どもが成長していく将来の社会状況等に関すること	178	27.7	218	34.5
保育所等の利用に関すること	4	0.6	10	1.6
幼稚園の入園及び退園後の保育に関すること	8	1.2	1	0.2
小学校の生活や中学校への進学に関すること	121	18.8	108	17.1
小学校の放課後や長期休業(春・夏・冬休み)などの過ごし方に関すること	99	15.4	106	16.8
子どもの友だちづきあい(いじめ・孤立化など)に関すること	193	30.1	178	28.2
不登校・非行などに関すること	21	3.3	26	4.1
その他	10	1.6	18	2.8
特になし	90	14.0	95	15.0
無回答	11	1.7	18	2.8

傾向：子どもの病気や発育・発達に関すること、子どもとの接し方に自信が持てない、子育てのストレスを解消できない、子どもを叱りすぎているような気がする、子育てと仕事の両立に関すること、小学校の生活や中学校への進学に関すること、子どもの友だちづきあいに関すること等の悩みの割合が増加している。

問 8-1 子育てに関して気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。(複数回答)

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
祖父母等の親族	469	79.5	460	78.6
友人や知人	473	80.2	465	79.5
近所の人	56	9.5	58	9.9
子育て支援施設(子育て支援センターや児童館など)・NPO	22	3.7	10	1.7
小学校教諭	84	14.2	67	11.5
民生委員・児童委員	3	0.5	1	0.2
かかりつけの医師	21	3.6	16	2.7
市の子育て相談窓口	8	1.4	5	0.9
その他	22	3.7	18	3.1
無回答	2	0.3	8	1.4
非該当	52		47	

傾向：引き続き、祖父母等の親族、友人や知人を相談先としている保護者の割合が多いが、かかりつけの医師、子育て支援施設・NPO、小学校教諭等を相談先とする保護者の割合が増えている。

問11 あて名のお子さんの保護者（母親）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	142	22.1	113	17.9
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	3	0.5	6	0.9
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	278	43.3	250	39.6
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	6	0.9	4	0.6
以前は就労していたが、現在は就労していない	183	28.5	196	31.0
これまで就労したことがない	15	2.3	37	5.9
無回答	15	2.3	26	4.1

傾向：フルタイム、パート・アルバイトとも就労している母親の割合が増加している。

問11-1 パート・アルバイト等で就労していると回答した方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。（母親）

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
フルタイムへの転換予定がある	19	6.7	2	0.8
フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない	92	32.4	78	30.7
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	160	56.3	157	61.8
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	9	3.2	13	5.1
無回答	4	1.4	4	1.6
非該当	358		378	

傾向：フルタイムへの転換予定及び転換を希望する保護者の割合が増加している。

問11-2 「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。（母親）

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	62	31.3	77	33.0
1年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい	80	40.4	82	35.2
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	52	26.3	63	27.0
無回答	4	2.0	11	4.7
非該当	444		399	

※1年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい

平均値：平成 30 年度 6.7 歳 平成 25 年度 7.0 歳

※すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

フルタイムで就労したい：平成 30 年度 5 人 平成 25 年度 7 人

パートタイム等で働きたい：平成 30 年度 47 人 平成 25 年度 55 人

パートタイムで働きたい1週あたりの日数：平成 30 年度 3.7 日 平成 25 年度 4.0 日

パートタイムで働きたい1日あたりの時間：平成 30 年度 5.2 時間 平成 25 年度 4.6 時間

傾向：1年より先に就労したい母親の割合が増加している。

問 12 お子さんは、現在、児童館・児童センターを利用していますか。また、おおよその利用回数（頻度）はどの程度ですか。

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
利用している	142	22.1	121	19.1
利用していない	494	76.9	503	79.6
無回答	6	0.9	8	1.3

※利用している平均回数：平成 30 年度 1 週間あたり 3.5 回、もしくは 1 ヶ月あたり 7.3 回
平成 25 年度 1 週間あたり 3.6 回、もしくは 1 ヶ月あたり 8.2 回

傾向：児童館・児童センターを利用している児童の割合が増加している。

問 13 児童館・児童センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。また、おおよその利用回数（頻度）は、どの程度ですか

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
利用していないが、今後利用したい	114	17.8	99	15.7
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	21	3.3	26	4.1
新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない	393	61.2	382	60.4
無回答	114	17.8	125	19.8

※利用していないが、今後利用したい平均回数
平成 30 年度 1 週間あたり 2.1 回、もしくは 1 ヶ月あたり 5.9 回
平成 25 年度 1 週間あたり 2.3 回、もしくは 1 ヶ月あたり 6.5 回
※すでに利用しているが、利用を増やしたい平均回数
平成 30 年度 1 週間あたり 2.2 回、もしくは 1 ヶ月あたり 8.0 回
平成 25 年度 1 週間あたり 2.9 回、もしくは 1 ヶ月あたり 5.9 回

傾向：児童館・児童センターについて、新たに利用したいと考えている保護者の割合が増えている。

問 14 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

知っている事業

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
家庭教育に関する相談	189	29.4	256	40.5
教育研究所の教育相談	126	19.6	178	28.2
子育ての相談窓口	379	59.0	399	63.1
ファミリー・サポート・センター事業	396	61.7	-	-

利用したことがある事業

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
家庭教育に関する相談	9	1.4	10	1.6
教育研究所の教育相談	12	1.9	11	1.7
子育ての相談窓口	38	5.9	31	4.9
ファミリー・サポート・センター事業	58	9.0	-	-

今後利用したい事業

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
家庭教育に関する相談	102	15.9	87	13.8
教育研究所の教育相談	91	14.2	88	13.9
子育ての相談窓口	115	17.9	119	18.8
ファミリー・サポート・センター事業	115	17.9	-	-

傾向：各事業を知らない保護者が増えている。利用については、5年前とほぼ同様となっており、今後の利用については家庭教育に関する相談の希望が増えている。

問15 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
あった	389	60.6	309	48.9
なかった	241	37.5	230	36.4
無回答	12	1.9	93	14.7

傾向：病気やケガで学校を休む児童の割合が増加している。

問 15-1 お子さんが病気やケガで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法と、それぞれの日数をご記入ください

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
父親が仕事を休んだ	37	9.5	25	8.1
母親が仕事を休んだ	197	50.6	125	40.5
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	70	18.0	85	27.5
父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	114	29.3	109	35.3
ベビーシッターを利用した	0	0.0	1	0.3
ファミリー・サポート・センター事業を利用した	1	0.3	2	0.6
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	32	8.2	34	11.0
その他	15	3.9	17	5.5
無回答	9	2.3	10	3.2
非該当	253		323	

※1年間のうち父親が仕事を休んだ日数 平均値：平成30年度 2.7日 平成25年度 1.8日

※1年間のうち母親が仕事を休んだ日数 平均値：平成30年度 3.5日 平成25年度 3.6日

※1年間のうち親族・知人に子どもをみてもらった日数 平均値：平成30年度 3.9日 平成25年度 5.0日

※1年間のうち父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた日数

平均値：平成30年度 6.1日 平成25年度 5.0日

※1年間のうちベビーシッターを利用した日数 平均値：平成30年度 0.0日 平成25年度 0.0日

※1年間のうちファミリー・サポート・センター事業を利用した日数

平均値：平成30年度 2.0日 平成25年度 4.0日

※1年間のうち仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数 平均値：平成30年度 2.1日 平成25年度 4.7日

傾向：父母が仕事を休んで、病気やケガの子どもをみる傾向が強まっている。

問 15-2 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いますか。また、そう思う場合、1年間の利用したい日数もご記入ください

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	61	15.7	68	22.0
利用したいとは思わない	316	81.2	236	76.4
無回答	12	3.1	5	1.6

※できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数 平均値：平成 30 年度 7.9 日 平成 25 年度 4.5 日

傾向：病児・病後児保育施設等を利用したいと思う保護者の割合は減っているが、病児・病後児保育施設等を利用したい日数は増えている。

問 16 お子さんは現在、放課後の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、それぞれ週あたり日数もご記入ください。

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
自宅	487	75.9	489	77.4
祖父母宅や友人・知人宅	95	14.8	153	24.2
習い事	271	42.2	370	58.5
児童館・児童センター	24	3.7	39	6.2
放課後児童クラブ(学童保育)	94	14.6	81	12.8
ファミリー・サポート・センター事業	7	1.1	0	0.0
その他(公民館、コミュニティセンター、公園など)	164	25.5	244	38.6
無回答	9	1.4	16	2.5

※希望する週あたりの平均日数等

自宅 : 平成 30 年度 3.7 日 平成 25 年度 3.3 日

祖父母宅や友人・知人宅 : 平成 30 年度 2.3 日 平成 25 年度 2.2 日

習い事 : 平成 30 年度 2.4 日 平成 25 年度 2.4 日

児童館・児童センター : 平成 30 年度 1.6 日 平成 25 年度 3.3 日

放課後児童クラブ(学童保育)

: 平成 30 年度 4.4 日 下校時から 16:59 まで 平成 25 年度 4.1 日 下校時から 16:38 まで

ファミリー・サポート・センター事業 : 平成 30 年度 4.0 日 平成 25 年度 0.0 日

その他(公民館、コミュニティセンター、公園など) : 平成 30 年度 2.3 日 平成 25 年度 2.6 日

傾向：祖父母や友人・知人宅、習い事、公民館、コミュニティセンター、公園などで過ごす児童の割合が減少し、放課後児童クラブで過ごす児童の割合が増えている。

問 17 お子さんについて、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、それぞれ希望する週あたり日数もご記入ください。(※放課後児童クラブについて何年生まで利用したいかをご記入ください。)

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
自宅	443	69.0	426	67.4
祖父母宅や友人・知人宅	87	13.6	136	21.5
習い事	257	40.0	356	56.3
児童館・児童センター	38	5.9	77	12.2
放課後児童クラブ(学童保育)	113	17.6	131	20.7
ファミリー・サポート・センター事業	7	1.1	4	0.6
その他(公民館、コミュニティセンター、公園など)	161	25.1	248	39.2
無回答	26	4.0	15	2.4

※希望する週あたりの平均日数等

自宅 : 平成 30 年度 3.3 日 平成 25 年度 3.1 日

祖父母宅や友人・知人宅 : 平成 30 年度 2.2 日 平成 25 年度 1.9 日

習い事 : 平成 30 年度 2.2 日 平成 25 年度 2.3 日

児童館・児童センター : 平成 30 年度 2.2 日 平成 25 年度 2.4 日

放課後児童クラブ(学童保育)

: 平成 30 年度 4.1 日 下校時から 17:10 まで 4.3 年生まで預けたい

平成 25 年度 3.9 日 下校時から 17:12 まで 4.3 年生まで預けたい

ファミリー・サポート・センター事業 : 平成 30 年度 4.1 日 平成 25 年度 1.5 日

その他(公民館、コミュニティセンター、公園など) : 平成 30 年度 2.8 日 平成 25 年度 2.7 日

傾向 : 自宅で子どもを過ごさせたい保護者の割合が増えている。

問 17-1 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に放課後児童クラブの利用希望はありますか。また、利用したい時間帯もご記入ください。

土曜日

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
利用する必要はない	57	50.4	69	52.7
低学年の間は利用したい	34	30.1	30	22.9
高学年になっても利用したい	21	18.6	21	16.0
無回答	1	0.9	11	8.4
非該当	529		501	

※利用したい時間帯(平均) : 平成 30 年度 8:39~16:55 平成 25 年度 8:25~17:01

日曜日・祝日

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
利用する必要はない	92	81.4	87	66.4
低学年の間は利用したい	13	11.5	17	13.0
高学年になっても利用したい	6	5.3	16	12.2
無回答	2	1.8	11	8.4
非該当	529		501	

※利用したい時間帯(平均) : 平成 30 年度 8:11~17:25 平成 25 年度 8:33~17:20

傾向 : 土曜日の利用希望者の割合はやや増加しているが、日曜日・祝日の利用希望者の割合はやや減少している。

問18 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。また、利用したい時間帯もご記入ください。

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
利用する必要はない	14	12.4	41	31.3
低学年の間は利用したい	53	46.9	36	27.5
高学年になっても利用したい	45	39.8	51	38.9
無回答	1	0.9	3	2.3

※利用したい時間帯 (平均) : 平成 30 年度 8 : 19~16 : 45 平成 25 年度 8 : 31~17 : 03

傾向 : 低学年のうち、長期休業期間中に放課後児童クラブを利用したい保護者の割合が増えている。

問 19 この 1 年間に、保護者の用事 (冠婚葬祭、保護者・家族の病気など) により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。あった場合は、この 1 年間の対処方法と、それぞれの日数をご記入ください。

泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないこと

選択肢	平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)
あった	99	15.4
なかった	517	80.5
無回答	26	4.0

対処方法

選択肢	平成 30 年度	
	回答数	割合 (%)
(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	87	87.9
短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	0	0.0
イ以外の保育事業(認可外保育施設、ファミリー・サポート・センター事業、ベビーシッター等)を利用した	1	1.0
仕方なく子どもを同行させた	13	13.1
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	1.0
その他	2	2.0
無回答	0	0.0
非該当	543	

※(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった頻度 平均値 : 平成 30 年度 1 年あたり 6.1 泊

※短期入所生活援助事業を利用した頻度 平均値 : 平成 30 年度 1 年あたり 0 泊

※ファミリー・サポート・センター事業等を利用した頻度 平均値 : 平成 30 年度 1 年あたり 50 泊

※仕方なく子どもを同行させた頻度 平均値 : 平成 30 年度 1 年あたり 1.8 泊

※仕方なく子どもだけで留守番をさせた頻度 平均値 : 平成 30 年度 1 年あたり 1 泊

傾向 : 宿泊を伴う緊急時の用事の際には親族・知人にみてもらうあるいは、仕方なく子どもを同行させる対処がほとんどであった。

問20 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと思いますか。

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
親子が気軽に集まれる場所などをつくってほしい(子育て支援センターなど)	102	15.9	96	15.2
子育てに困ったときに相談または情報を得られる場所を増やしてほしい	114	17.8	131	20.7
子育てについて学べる機会をつくってほしい	81	12.6	88	13.9
親子または子どもが遊べる公園等の施設を増やしてほしい(児童館・児童センターは除く)	281	43.8	219	34.7
子育てサークル活動をするための場所をつくってほしい	11	1.7	12	1.9
専業主婦など誰でも気軽に子どもを預けられる保育サービスを拡充してほしい	158	24.6	176	27.8
母子保健・健診を拡充してほしい	93	14.5	91	14.4
安心して子どもが医療機関にかかる制度を拡充してほしい	324	50.5	341	54.0
子どもが病気や回復期のときに預かってくれる保育サービスを増やしてほしい	118	18.4	154	24.4
保育所や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい	155	24.1	227	35.9
保育所を増やしてほしい	29	4.5	53	8.4
認定こども園を増やしてほしい	29	4.5	-	-
小規模保育施設を増やしてほしい	7	1.1	-	-
夜間保育所を整備してほしい	20	3.1	-	-
休日保育を増やしてほしい	58	9.0	-	-
一時保育を増やしてほしい	39	6.1	-	-
病児・病後児保育を増やしてほしい	60	9.3	-	-
児童館・児童センターを増やしてほしい	73	11.4	127	20.1
学童保育など放課後の小学生を安心して預けられる場所を増やしてほしい	131	20.4	147	23.3
小学校の長期休業(春・夏・冬休み)に子どもを安心して預けられる体制を整備してほしい	185	28.8	185	29.3
非行防止など青少年育成の体制を整備してほしい	96	15.0	131	20.7
多子世帯の優先入居や広い間取りの割り当てなど、市営住宅入居面で配慮してほしい	44	6.9	59	9.3
残業時間短縮や休暇取得促進など、子育てのための職場環境の改善を企業に働きかけてほしい	160	24.9	150	23.7
その他	29	4.5	43	6.8
特になし	48	7.5	32	5.1
無回答	16	2.5	32	5.1

傾向：親子または子どもが遊べる公園等の施設を増やしてほしい、安心して医療機関にかかる制度を拡充してほしいという要望が引き続き多い。

問21 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

選択肢	平成 30 年度		平成 25 年度	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
1 (低い)	38	5.9	62	9.8
2	121	18.8	123	19.5
3	329	51.2	304	48.1
4	115	17.9	98	15.5
5 (高い)	19	3.0	12	1.9
無回答	20	3.1	33	5.2

平均値：平成 30 年度 2.9、平成 25 年度 2.8

傾向：子育ての環境や支援への満足度は、ほんのわずかに上昇しているが、今後は、さらに満足度を上昇させなければならない状況にある。